飛躍

森町立旭が丘中学校　第３学年
学年通信　第４号
２０２０年　４月２４日（金）
文責　太田　雄司

エネルギーを蓄え　個々の力を高める時！

「*２週間の休校期間が終わり、いよいよ来週月曜日から学校が再開します。*」という書き出しで今回の学年通信が始まるはずでしたが、４月１６日に緊急事態宣言が全国に拡大されたことを受け、休校期間が４月２７日から５月１０日まで延長となりました。新学期がスタートしてすぐに休校になってしまったわけですが、３年生の生徒の学校生活の様子はとても立派であったと思います。対面式や学年集会等では、背筋を伸ばし、視線をそらすことなく、話し手の方を向いて話を聞いていました。また、コロナウイルス感染拡大防止のために各教室で食事をすることになった給食では、初めて経験するスタイルであったにもかかわらず、給食委員を中心に、手際よく配膳・片付けをすることができました。簡単なことのように思えますが、このような基本的なことがきっちりとできることはとても大切なことであり、継続して積み重ねることで大きな力となっていくはずです。ここまでの登校日数は、入学式準備と休校中の登校日を含めてわずか７日ですが、一つ一つの行動からは、３月の休校前からの成長ぶりや「最上級生・受検生」としての自覚と責任を感じることができました。また、今年１年で大きく飛躍してくれるだろうという期待を抱かせてくれる姿でした。最高のスタートを切ることができ、よい流れができつつあっただけに、１か月の休校は本当に残念でなりません。

この休校期間は、充実した１年を過ごすため、そして３月に大輪の花を咲かせるためのエネルギーを蓄え、個々の力を高める期間です。現状を言い訳にすることなく、昨日の自分よりも今日の自分を進化させてほしいと思います。そのためには、時間を自分でつくり出し、時間を大切にして一歩一歩前に進んでいくしかありません。今は大変な時、苦しい時であることは間違いありません。しかし、大変な時は大きく変われる時です。苦しい時こそ伸びる時です。延長された休校期間で大きく成長することを期待しています。

☆登校日（４／１７）の授業の様子

２０分×５時間の授業でしたが、どの生徒も集中して取り組むことができていました。

今年度も「授業で真剣勝負！」そして「毎時間の授業は最大の受検勉強！！」